

グロッキーになったバイデンは、アメリカを道づれにするか？

<https://www.infowars.com/posts/will-punch-drunk-biden-take-america-down-with-him/>

James Bovard | Mises.org

June 10, 2022

⇒インフレは40年ぶりの高さ、燃料費は破壊的、そして終わりは見えない

⇒バイデンは、それがどれほど良いことか言うべきだ

バイデン大統領はしばしば、グロッキーになりながら、またしてもリングに上らされる老いたるボクサーのように見える。

この時点で、バイデンの評価数値よりもっと低くなっているのは、彼のエネルギーだけである。アンクル・ジョーは年老いて、これをはね返すことができないのか？

この時点でバイデンは、ただ憤激と自己正当化を繰り返すだけである。

木曜夜のテレビ放送の銃規制演説で、バイデンは、ほとんどの人々は、「怒りによって、これ [攻撃用の銃問題] を中心問題にしようと思っていた」と公言した。

<https://www.c-span.org/video/?520721-1/president-biden-addresses-nation-mass-shootings>

バイデンの歴史的な大見解は、銃を禁止するより、銃所有者を更に勢いづかせることになり、中部アメリカの民主党候補者は、もう一本の棺の釘を打たれそうである。

バイデンは、いつも決まって民衆に対し、攻撃用武器を禁止することが正しい理由は、第2修正条項がアメリカ人に大砲の所持を許さなかったからだと言うが、これはワシントン・ポストでさえ、繰り返し嘲笑する虚偽である。

インフレは、現在、アメリカ人にとって群を抜いて最大の問題である。バイデンのインフレは、やがて、アメリカ人の給料の購買力を、10パーセントも減らすことになるだろう。

<https://www.pewresearch.org/fact-tank/2022/05/12/by-a-wide-margin-americans-view-inflation-as-the-top-problem-facing-the-countr>

<https://nypost.com/2022/01/23/inflation-will-bankrupt-joe-biden-and-the-democrats/>

しかしバイデンは、自分の政策を批判する者に激怒している。

フォックス・ニュースの Peter Doocy が、一月、この衝撃について訊ねたとき、バイデンは彼を「愚かな野郎」だと言った。

<http://twitter.com/brianstelter/status/1485741499283296265>

ある3月の民主党議会議員への演説で、バイデンはインフレの責任を問われて激怒し、「私はこの問題で胸が悪くなっている！… 我々がこれについて話さなければならないのは、アメリカの民衆が、インフレの理由は、政府の過剰出費などと考えているからだ。これは完全に間違っている」と言った。

<https://twitter.com/townhallcom/status/1502364235816443907>

バイデンは最初、インフレの原因は貪欲な企業にあると言おうとした。しかし次に、「プーチンの物価引き上げ」が悪いと言いだめた。

これはうまくいかなかった。

先週、ワシントン・ポストは、バイデンは今、ホワイトハウスの補佐官の悪口を言い始め、「彼らがよい仕事をしないこと、そのやり方がそもそものインフレの原因なのだと言いだめた」と暴露した。<http://www.washingtonpost.com/politics/2022/05/31/biden-inflation-frustration/>

しかし彼の補佐官たちは、バイデンが、「ガソリンは今、14パーセント値下がりした」と自慢したとき、大慌てでこれを否定している。彼はこれを、3月9日の思い違いだけに基づいて言っているのである。これはもっと始末が悪いではないか？

<https://pluralist.com/biden-gets-confused-trying-to-find-his-way-off-the-stage-opinion/>

先週金曜日、バイデンは、アメリカ人は彼の政策のおかげで、「財政的に楽になっている」と自慢した。

<https://www.whitehouse.gov/briefing-room/speeches-remarks/2022/06/03/remarks-by-president-biden-on-the-may-jobs-report-2/>

バイデンは 2020 年には、ある程度うまくやった。なぜなら、最後の論戦で彼は、「私はウイルスを締め出すつもりだ」と約束したからである。

<http://www.usatoday.com/story/news/politics/elections/2020/10/23/debate-transcript-trump-biden-final-presidential-debate-nashv>

バイデンは自分の大統領職を Covid ワクチンに賭けた。その効き目がなくなったとき、彼は 1 億以上のアメリカ人に向けて、「注射か職か」(jab or job)の最後通牒を突き付けた。

最高裁は、その命令の大部分をはね付けたが、間もなくオミクロン変種が、1 日百万の新しい症例を作り出し、バイデンの Covid 勝利の自慢を消してしまった。

先月、ホワイトハウスは、この秋には、1 億人の新しい Covid 患者が発生すると予言したが、これは、CDC (疾病予防センター) が、Covid による死亡者のほとんど半数が、現在、十分なワクチンを受けた人々であることを、認めたことによるものである。

<https://www.washingtonpost.com/health/2022/05/06/fall-winter-coronavirus-wave/>
<https://www.washingtonpost.com/health/2022/04/29/covid-deaths-unvaccinated-boosters/>

より信頼できるワクチンを作る代わりに、バイデンのチームは、社会メディア企業に圧力をかけ、大統領命令による注射に疑いをかける「ニセ情報」を、撲滅せよと要求した。

バイデンは事実をもみ消すことで、長い DC の評判を得ている。彼の最初の大統領への試みが、1980 年代後期に潰れたのは、彼があるイギリスの政治家を、破廉恥にも剽窃したためであった。

しかし 2020 年の民主党は、ドナルド・トランプを打ち負かすことのできる、誰かを見つけようと必死だった。

彼らの判断はこうだった：——「ここには病理的なウソつきがいる——しかし彼は、我々の病理的なウソつきだ。」

2020 年の大統領選挙戦の間、バイデンは、一群のメディア連盟によって庇護されていた。そして前の政府の実動隊は、ハンター・バイデンのパソコン (NY ポストによって初めて暴露された) のような問題を、うまく隠してくれた。

しかしバイデンが、いかにしばしば、デラウェアに逃げ帰ろうとも、彼は選挙戦の間、遙かに目立つ立場に置かれていた。彼はスピーチの後で、ステージから姿を隠そうとして、彼が舞台上の見えない人々と、握手しようとする姿を撮るビデオは、見苦しいものだった。

<https://nypost.com/2022/04/14/biden-shakes-hands-with-thin-air-after-north-carolina-speech/>

10年前、バイデンは、副大統領論争で、ポール・ライアン議員（共、ウィスコンシン）を叩くのに、精神的に敏捷で言葉も活発に思われたときがあった。しかし、バイデンの言葉と精神の闘争は、今、その輝くパフォーマンスを、千年前のように思わせる。

バイデンのホワイトハウスは、この大統領の心身の健康について、確かな医学的情報を、ほとんど何も明らかにしていない。その代わりに、バイデンを弁護するメディアは、彼はよくやっていると言っている。これは、ウッドロー・ウィルソン大統領が発作で不能状態になったとき、多くの報道部隊がこれを隠したやり方に似ている。

先月、ワシントン・ポストが、ブルームバーグの Jonathan Bernstein が、アメリカ人は「バイデンの精神的能力を悪く言うのをやめよ」と要求したコラム記事を、再印刷した。

https://www.washingtonpost.com/business/stop-smearing-bidens-mental-capacity/2022/05/02/69118f56-ca14-11ec-b7ee-74f09d827ca6_story.html

バーンスタインは、バイデンの能力についての疑問を、「ジョー・バイデンの大統領期間に起こった多くの醜い事柄の一つ」だと説明している。

バーンスタインは、バイデンの擁護を、ワシントンのエリートの信用の確かさに基づかせ、「バイデンが故障していると信ずることは、何千もの人々による、膨大な陰謀を信ずること要求するものだ」と言っている。

イラクが大量破壊兵器をもっていたという考えのように、これは戦争を正当化するブッシュのペテンと同じもので、それは、ほとんどのメディアとワシントン体制によって、頑強に信じられたものがある。

あるいはこれは、連邦準備理事会が、ますます価値のない通貨を、国民に対し洪水のように流すことはよいことだ、という考えに似ている。これもワシントン DC で信じられている、もう一つの神話である。

先月の世論調査で、アメリカ人の 53 パーセントが、バイデンは大統領として「精神的に適切か」を疑っていることがわかった。 https://harvardharrispoll.com/wp-content/uploads/2022/05/HHP_May2022_KeyResults.pdf

公的な記録者たちが、バイデンは 2020 年選挙で、8,100 万票を獲得したと決定したことは、その唯一重要な、「有能さ」の証拠と考えられているのだろう。

バイデンの能力を証明するただ一つの証拠は、ワシントンにある：——彼はロシアとの戦闘を宣言しているが、これはヒラリー・クリントンが反ロシア運動を、2016 年の彼女の大統領戦の要点として以来、民主党が渴望してきたものである。

バイデンのヒステリックなプーチン弾劾は、ワシントン DC のインサイダーを喜ばせるもので、彼らはこの国を、軍事紛争へと引き込もうとしているが、ほとんどのアメリカ人は、もし彼らが十分な事実と危険を知るならば、決して支持しないことを彼らは知っている。

ホワイトハウス、国務省、CIA、それにペンタゴンは、ロシアとウクライナ間の軍事紛争がどのように起こっているについて、信用できる証拠をほとんど提供していない。

これに対して、バイデンは、おとぎ話の看板役を演じ、米政府の援助と武器を、キエフの腐敗した政府に、ほとんど無制限に供給すれば、間違いなく、民主主義のための歴史的勝利が手に入るかのように言っている。

しかしロシアの不正な侵略と、「市民に対する残虐行為」は、ウクライナ政府が、何十年も、自国民を苦しめてきた事実を、浄化することはできない。

プーチンとゼレンスキーの間の、どんな和平会談にも、効果的に反対することによって、バイデン・チームは、両側の無意味な死者を、更に増やすことに終わっている。

バイデンは、壊れた羅針盤をもつ補佐官たちに取り囲まれた、やる気のない大統領である。バイデンの最悪の頓挫は、民主党が 11 月に、議会のコントロールを失ったときに起こるであろう。

共和党委員会は、バイデン・チームがこれまでうまく隠してきた（少なくともメディアの記録によれば）、可能性ある権力の濫用を、次々に調査し始めるだろう。

バイデンが、ガソリン給油機に「これをやったのは私だ！」というステッカーを貼ることを、ヘイト・クライムにすることができない限り、彼の支持は、アメリカ人がタンクを満たす度ごとに、減り続けていくであろう。

【訳者 Greatchain 注】

これは、この記事のタイトルが教訓になっている。我々には2つの生き方しかない。人の幸福を願って他者のために生きなければ、自分が幸福になれるわけがない、と考えるか、それは間違いで、この世界は闘争と衝突が原則なのだから、それを間違えては生きていけないと考えるか、どちらかである。我々は普通、前者の哲学に従って生きているが、後者が正しいと思う人々も、何パーセントかいる。ジョー・バイデンはそういう恐ろしい人の例である。

そして現在、このバイデンが一つの雛形となって、我々の世界を強制的にリードしようとしている。我々の大多数はこれに違和感を覚え、反対している。しかし、バイデンを表に立てて強引に人々を導こうとする者たちは、彼の思考力低下を利用しているとしか考えられない。彼らは基本的にこの「横紙破り」——つまり和紙の筋目に従うのではなく、これを横に破って、自然の原理に逆らおうとする——を通そうとしている。彼らの哲学がすべてこれだから、ロシアとウクライナの和平は許さない、どこまでも戦え、と言う。また自然の人間のあり方を認めず、「お注射」という異物を強制して、人間そのものを根本的に作り変えねばならない、と言う。

これで行けば、自分たち権力者の方針を強制して、もし失敗したなら、そのときには「人間ども」全体を巻き添えにせよ、ということになるだろう。この巻き添えの方法は、いとも簡単で、いくらでもありうる。人を生かすことは難しいが、殺すのは簡単である。しかし我々は騙されないように、あらゆる方面において、神経を研ぎ澄ますことはできる。我々に先端科学の知識は乏しいかもしれないが、彼らの悪意を見破るだけの、知恵はもっていなければならないだろう。テレビ画面ひとつにしても、漫然と見ていてはならないということである。